

鳥取大学 データサイエンス教育プログラム

令和7年度自己点検・評価

《履修状況》

令和7年度履修者、修得者数（再履修者含む）

	入学定員	収容定員	2科目履修者数	2科目修得者数
地域学部	170	680	189	163
医学部	264	1291	274	273
工学部	450	1800	503	445
農学部	255	1090	268	250
総計	1139	4861	1234	1131

2科目履修者数＝「情報リテラシ」と「データサイエンス入門」の2科目履修者数

《総評》

令和7年度は「データサイエンス教育プログラム」実施5年目である。

令和7年度前期「授業アンケート」の結果、満足できるという回答は「情報リテラシ」では全学部総計で83%、「データサイエンス入門」では79%であり、授業内容を十分理解しているという回答は「情報リテラシ」では79%、「データサイエンス入門」では80%となった。

また、全学共通科目（入門科目）「データサイエンス入門」については、今年度も受講前後のアンケート調査（以下の事前アンケート、および事後アンケート）を行った。その結果、データサイエンスに関する関心の肯定的回答は、事前65%、事後66%の割合でほぼ変化はなかったが、「大に関心がある」という回答は事前14%から事後19%へと増加した。社会におけるデータ・AIの活用に関する認識については、「詳しく説明できる」および「簡単な説明ができる」の割合は、51%から64%に増加し、そのうち「例を挙げて詳しく説明できる」回答は、6%から11%へ増加した。また、データサイエンスに関する知識・理解度に対する重要性について「必要不可欠である」との回答は51%から54%に増加した。

以上のことから、本プログラムはリテラシーレベルの教育として効果があり、順調に実施されていると判断される。

令和7年度授業アンケート（一般）

設問8：あなたは、全体としてこの授業に満足できましたか

設問13：あなたは、これまでの授業内容を十分理解できましたか
に対して、回答選択肢

1: 全くそうではない, 2: そうではない, 3: どちらとも言えない, 4: そのとおりだ,
 5: 全くそのとおりだ
 のうち, 「4: そのとおりだ, 5: 全くそのとおりだ」を選択した回答数, および回答率

情報リテラシ

時間割コード	ク ラ ス	開講 時期	履修 人数	回答 者数	設問 8 (4,5 回 答数)	設問 8 (4,5 回 答%)	設問 13 (4,5 回 答数)	設問 13 (4,5 回 答%)
AG20010001	01	前期	72	33	29	88%	22	67%
AG20010002	02	前期	62	38	36	95%	35	92%
AG20010003	03	前期	68	33	30	91%	30	91%
AG20010005	05	前期	85	76	54	71%	53	70%
AG20010006	06	前期	85	79	64	81%	58	73%
AG20010007	07	前期	66	22	14	64%	15	68%
AG20010008	08	前期	63	33	32	97%	28	85%
AG20010009	09	前期	76	27	20	74%	22	81%
AG20010010	10	前期	85	31	26	84%	23	74%
AG20010011	11	前期	63	38	36	95%	33	87%
AG20010012	12	前期	63	43	39	91%	36	84%
AG20010013	13	前期	68	42	38	90%	35	83%
AG20010014	14	前期	70	35	27	77%	30	86%
AG20010015	15	前期	70	54	45	83%	48	89%
AG20010016	16	前期	70	45	38	84%	36	80%
AG20010017	17	前期	78	59	44	75%	41	69%
AG20010018	18	前期	78	60	56	93%	53	88%
AG20010051	51	前期	104	39	29	74%	27	69%
総計			1326	787	657	83%	625	79%

データサイエンス入門 (時間割コード : AG26010000, 開講時期 : 前期)

履修人数	回答者数	設問 8 (4,5 回答数)	設問 8 (4,5 回答%)	設問 13 (4,5 回答数)	設問 13 (4,5 回答%)
1277	682	542	79%	547	80%

「データサイエンス入門」事前・事後アンケート集計結果（令和7年度）

事前アンケート設問・回答選択肢

1. 「データサイエンス」という分野に対して関心はありますか
 - 大いに関心があり学習したい
 - 少し関心がある
 - あまり関心はない
 - 全く関心はない
2. 社会の様々な分野でデータ・AI が活用されていることについて、どれくらいの認識がありますか
 - 活用されている例を挙げて詳しく説明できる
 - 活用されている例を挙げて簡単な説明ができる
 - 活用されている例について聞いたことがある
 - 活用されている例は知らない・聞いたことがない
3. データサイエンスに関する知識・理解はあなたの今後の進路（専門分野・進学・就職）においてどれくらい重要だと思いますか。
 - 必要不可欠であると思う
 - 必要不可欠ではないが役に立つと思う
 - あまり関係ないと思う
 - 分からない

事後アンケート設問・回答選択肢

1. この授業を終えて、「データサイエンス」という分野に対する関心は変化しましたか。現在の考えに最も近いものをお選びください。
 - 大いに関心があり、さらに学習を進めたい
 - 関心がある。機会があれば学習を進めてもよい
 - 少し関心がある
 - 関心はない
2. 社会の様々な分野でデータ・AI が活用されていることについて、どれくらいの認識がありますか（事前アンケートと同じ設問・選択肢）
3. データサイエンスに関する知識・理解はあなたの今後の進路（専門分野・進学・就職）においてどれくらい重要だと思いますか。（事前アンケートと同じ設問・選択肢）

○ 回答回収率（全学）

令和7年度 事前アンケート：98%，事後アンケート：93%

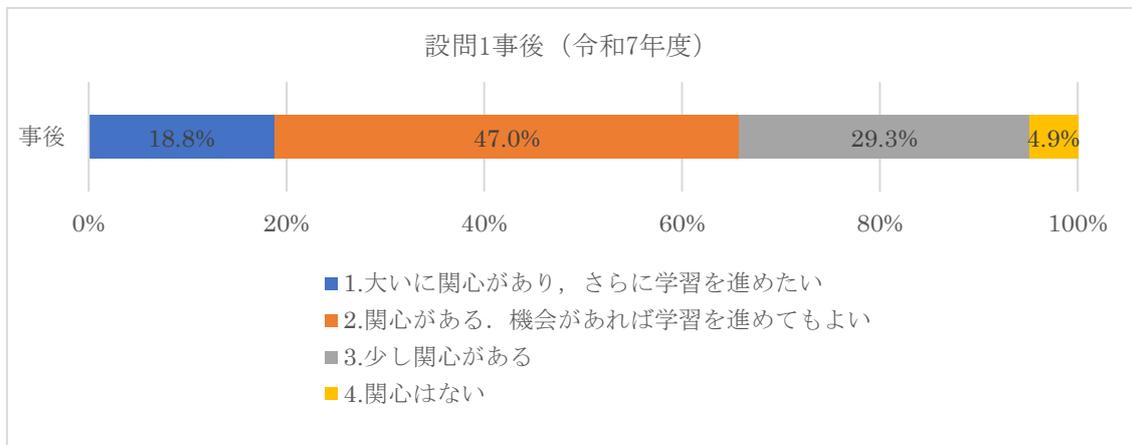
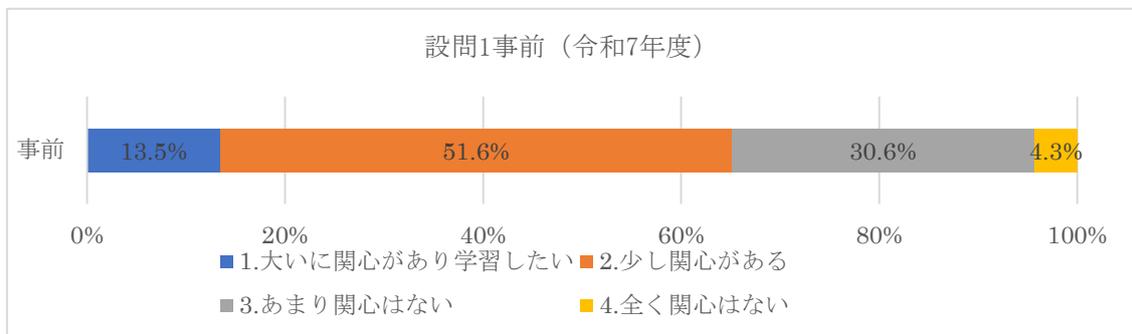
設問 1. (事前アンケート) 「データサイエンス」という分野に対して関心はありますか

設問 1. (事後アンケート) この授業を終えて、「データサイエンス」という分野に対する関心は変化しましたか. 現在の考えに最も近いものをお選びください.

事前	1. 大いに関心があり学習したい	2. 少し関心がある	3. あまり関心はない	4. 全く関心はない
	13.5%	51.6%	30.6%	4.3%
事後	1. 大いに関心があり, さらに学習を進めたい	2. 関心がある. 機会があれば学習を進めてもよい	3. 少し関心がある	4. 関心はない
	18.8%	47.0%	29.3%	4.9%

○ 回答の選択肢が異なるため, 事前・事後の単純な比較はできないが, 肯定的な回答の割合(選択肢 1 および 2 の回答割合)は, 事前 65.1%→事後 65.9% となった.

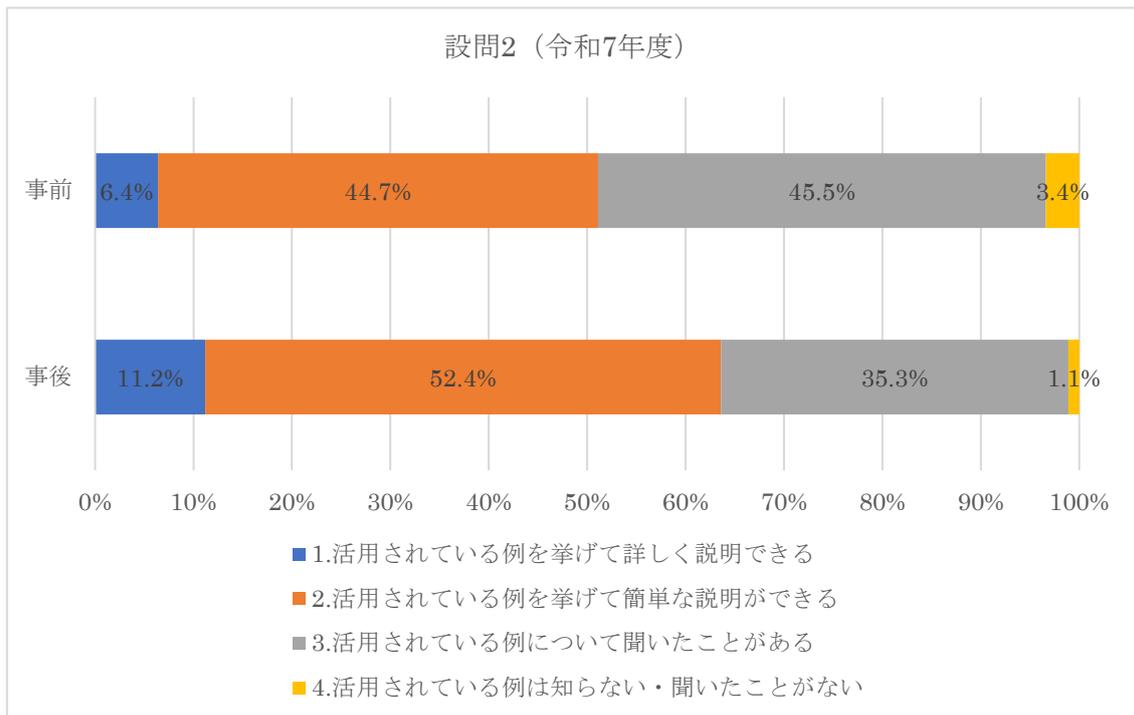
一方, 「大いに関心があり学習したい」(選択肢 1) 学生は, 事前 13.5%→事後 18.8% のように増加している.



設問 2. (事前・事後共通) 社会の様々な分野でデータ・AI が活用されていることについて、どれくらいの認識がありますか。

	1. 活用されている例を挙げて詳しく説明できる	2. 活用されている例を挙げて簡単な説明ができる	3. 活用されている例について聞いたことがある	4. 活用されている例は知らない・聞いたことがない
事前	6.4%	44.7%	45.5%	3.4%
事後	11.2%	52.4%	35.3%	1.1%

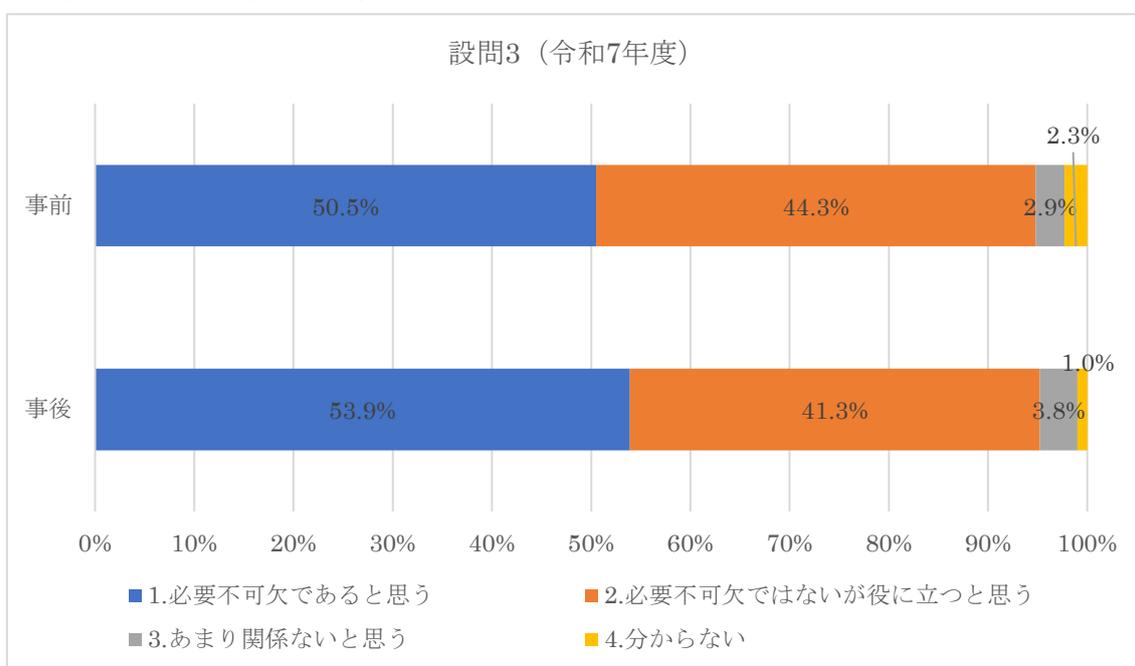
○ 社会におけるデータ・AI の活用についての認識では、肯定的な回答（「詳しく説明できる」および「簡単な説明ができる」）の割合は、事前 51.1%→事後 63.6%のように増加した。そのうち「例を挙げて詳しく説明できる」回答は、事前 6.4%→事後 11.2%へ、「簡単な説明ができる」回答は、事前 44.7%→事後 52.4%へ、共に増加している。



設問3. (事前・事後共通) データサイエンスに関する知識・理解はあなたの今後の進路(専門分野・進学・就職)においてどれくらい重要だと思いますか。

	1. 必要不可欠であると思う	2. 必要不可欠ではないが役に立つと思う	3. あまり関係ないと思う	4. 分からない
事前	50.5%	44.3%	2.9%	2.3%
事後	53.9%	41.3%	3.8%	1.0%

○ 肯定的な回答(選択肢1および2)は、事前94.8%→事後95.2%だった。
このうち「必要不可欠であると思う」回答は、事前50.5%→事後53.9%のように増加した。
また、「分からない」回答は、事前2.3%→事後1.0%のようにやや減少した。



アンケート結果・学部別集計

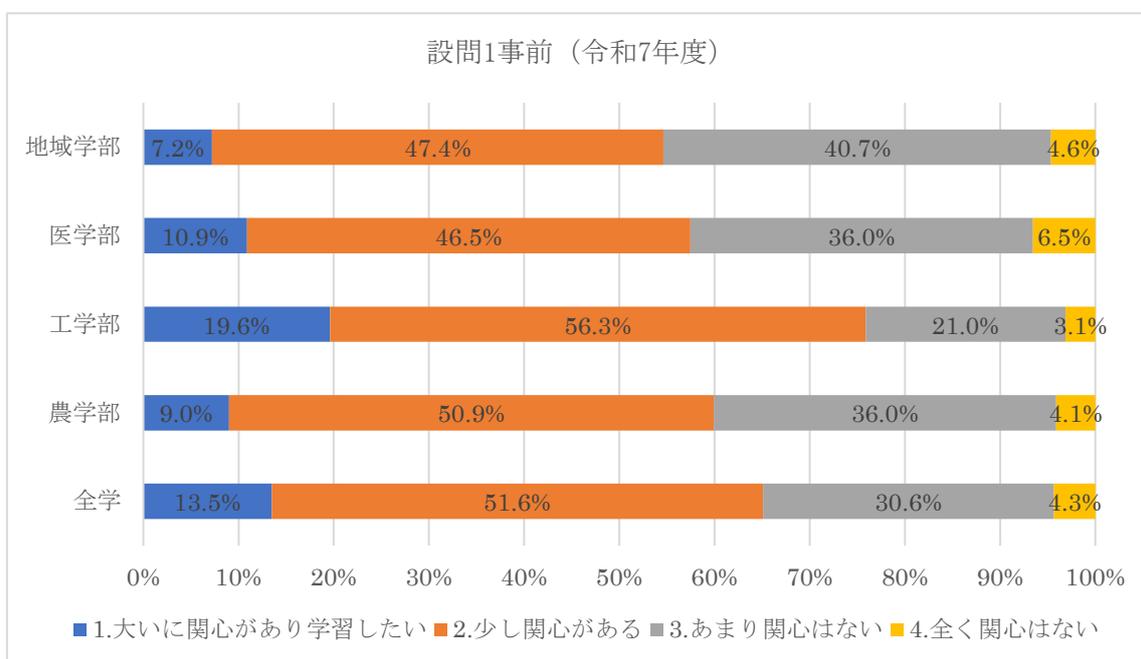
設問1.

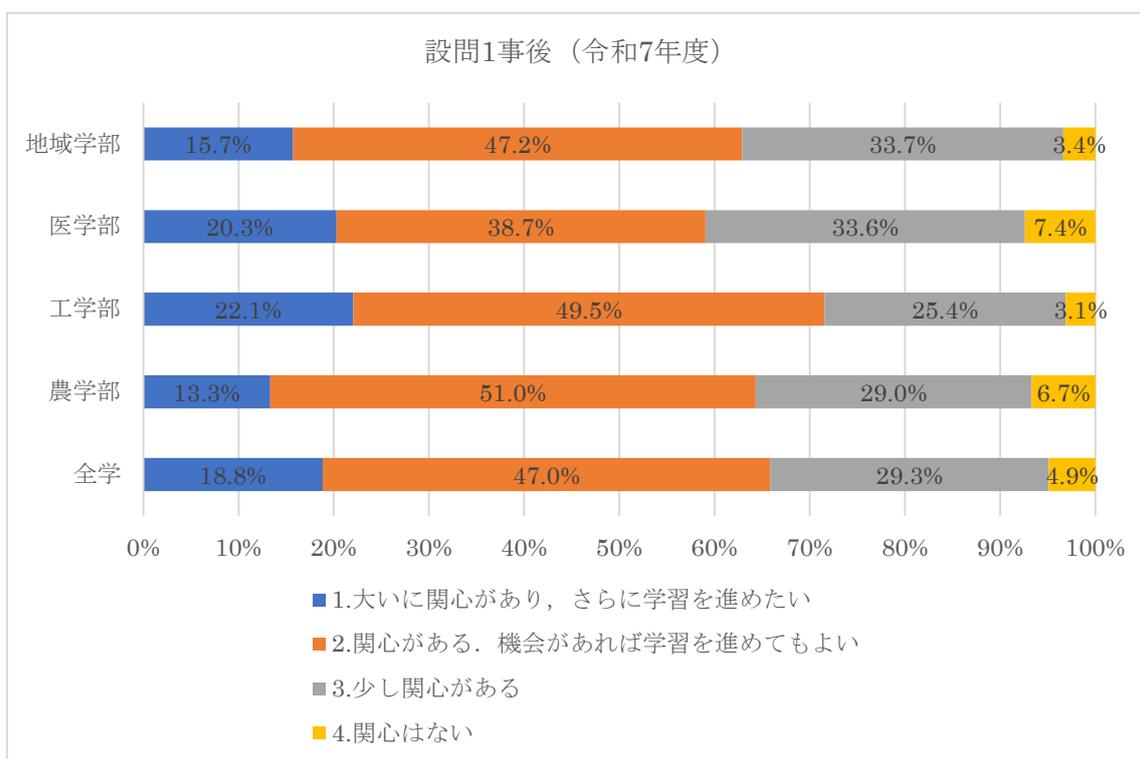
【設問1事前】

	1. 大いに興味があり学習したい	2. 少し興味がある	3. あまり興味はない	4. 全く興味はない
地域学部	7.2%	47.4%	40.7%	4.6%
医学部	10.9%	46.5%	36.0%	6.5%
工学部	19.6%	56.3%	21.0%	3.1%
農学部	9.0%	50.9%	36.0%	4.1%
全学	13.5%	51.6%	30.6%	4.3%

【設問 1 事後】

	1. 大いに興味があり、さらに学習を進めたい	2. 興味がある。機会があれば学習を進めたい	3. 少し興味がある	4. 興味はない
地域学部	15.7%	47.2%	33.7%	3.4%
医学部	20.3%	38.7%	33.6%	7.4%
工学部	22.1%	49.5%	25.4%	3.1%
農学部	13.3%	51.0%	29.0%	6.7%
全学	18.8%	47.0%	29.3%	4.9%





設問 2.

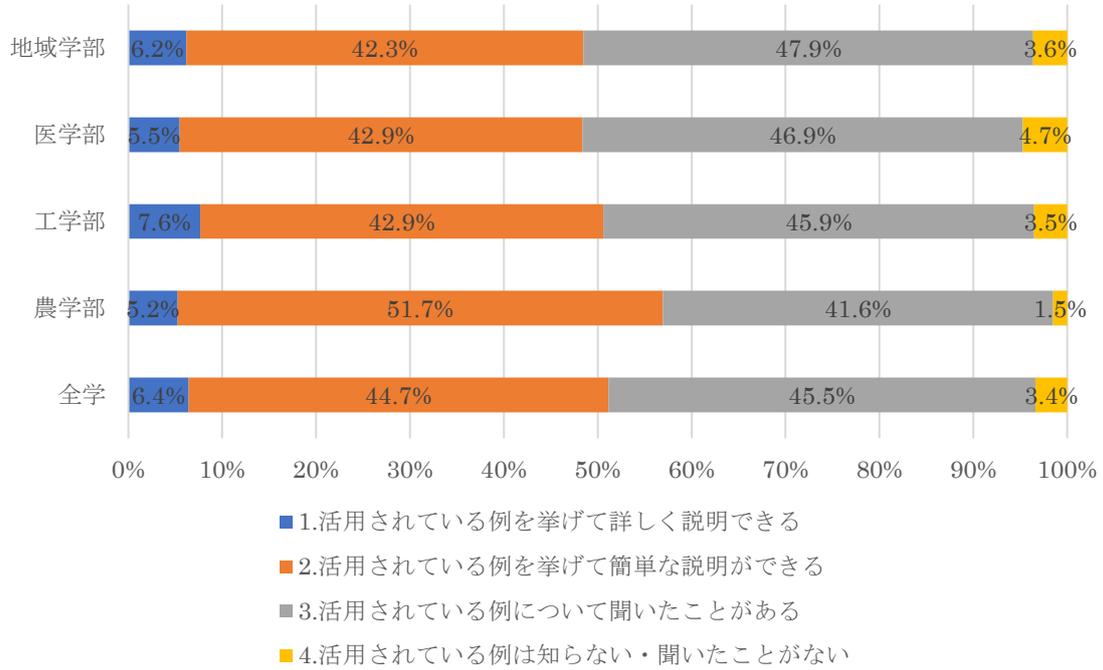
【設問 2 事前】

	1. 活用されている例を挙げて詳しく説明できる	2. 活用されている例を挙げて簡単な説明ができる	3. 活用されている例について聞いたことがある	4. 活用されている例は知らない・聞いたことがない
地域学部	6.2%	42.3%	47.9%	3.6%
医学部	5.5%	42.9%	46.9%	4.7%
工学部	7.6%	42.9%	45.9%	3.5%
農学部	5.2%	51.7%	41.6%	1.5%
全学	6.4%	44.7%	45.5%	3.4%

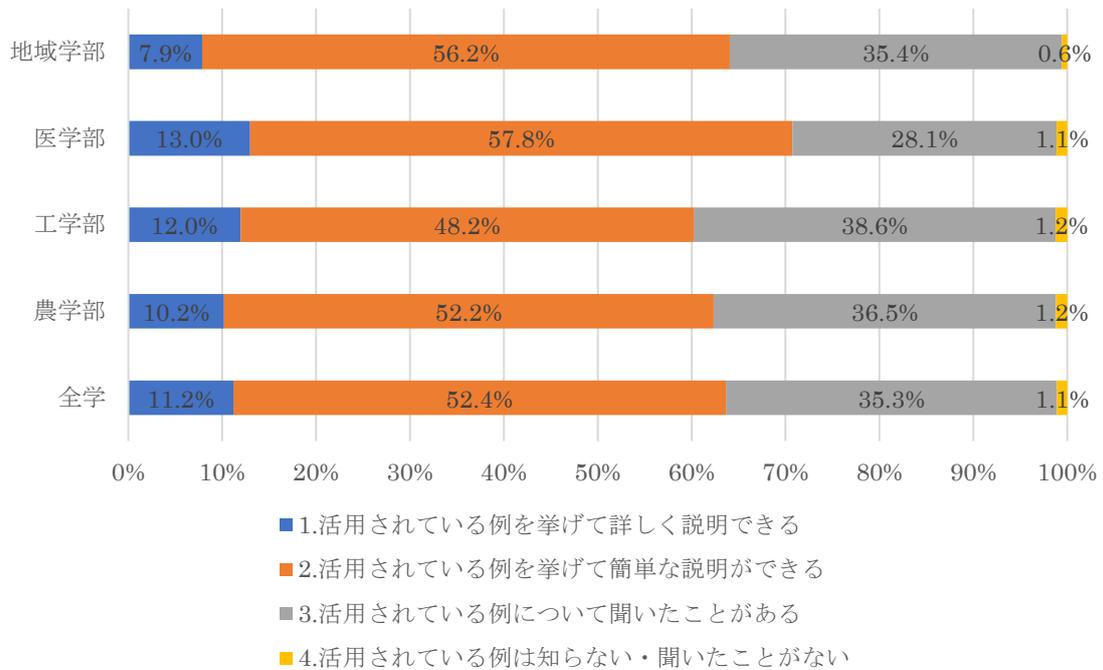
【設問 2 事後】

	1. 活用されている例を挙げて詳しく説明できる	2. 活用されている例を挙げて簡単な説明ができる	3. 活用されている例について聞いたことがある	4. 活用されている例は知らない・聞いたことがない
地域学部	7.9%	56.2%	35.4%	0.6%
医学部	13.0%	57.8%	28.1%	1.1%
工学部	12.0%	48.2%	38.6%	1.2%
農学部	10.2%	52.2%	36.5%	1.2%
全学	11.2%	52.4%	35.3%	1.1%

設問2事前（令和7年度）



設問2事後（令和7年度）



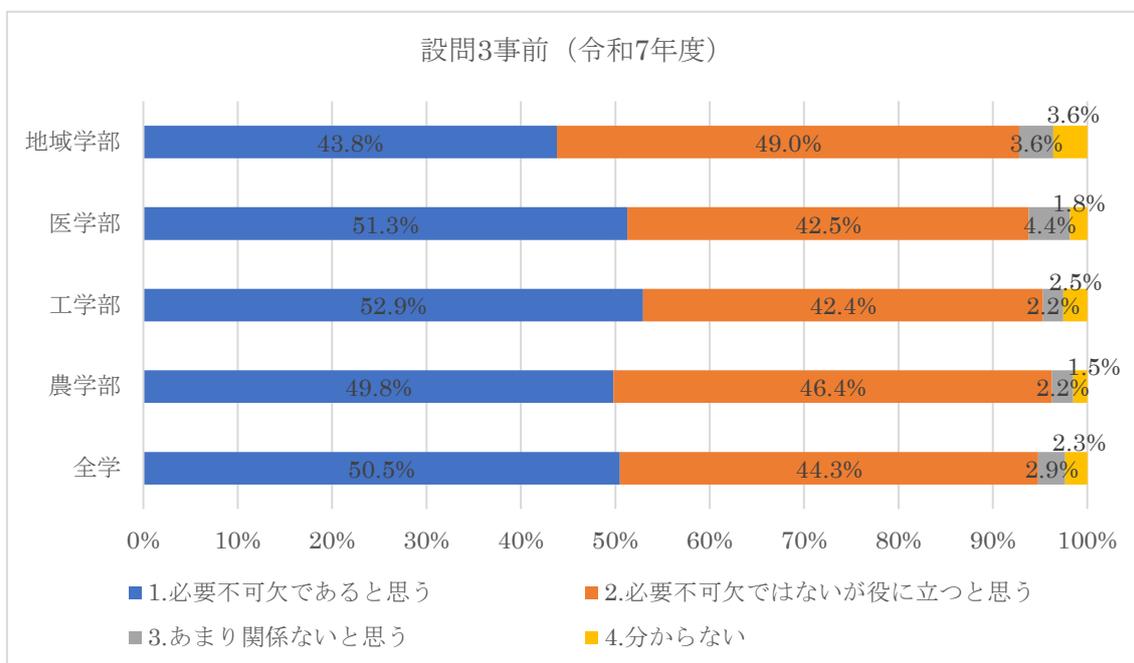
設問 3.

【設問 3 事前】

	1. 必要不可欠である と思う	2. 必要不可欠ではな いが役に立つと思う	3. あまり関係ないと 思う	4. 分からない
地域学部	43.8%	49.0%	3.6%	3.6%
医学部	51.3%	42.5%	4.4%	1.8%
工学部	52.9%	42.4%	2.2%	2.5%
農学部	49.8%	46.4%	2.2%	1.5%
全学	50.5%	44.3%	2.9%	2.3%

【設問 3 事後】

	1. 必要不可欠である と思う	2. 必要不可欠ではな いが役に立つと思う	3. あまり関係ないと 思う	4. 分からない
地域学部	48.9%	46.6%	3.4%	1.1%
医学部	51.3%	42.1%	6.3%	0.4%
工学部	58.5%	37.8%	2.5%	1.2%
農学部	51.4%	43.5%	3.9%	1.2%
全学	53.9%	41.3%	3.8%	1.0%



設問3事後（令和7年度）

